

2023 年 1 月 10 日

北東北三県・北海道ソウル事務所だより(2022 年 12 月)

報告者 職・氏名 所長 西岡忠大

1 事業活動の概要

(1) 観光関係

・ホームページのアップデート、SNS への投稿

当事務所のホームページにある4道県についての情報を随時更新しているほか、Facebook、Instagram の投稿を行いました。(崔代理対応)

・オンライン観光商談会の実施

11 月 29 日(火)～12 月 14 日(月)の 12 日間で 4 道県の観光施設等の営業担当者等と韓国の旅行会社等とをマッチングし、旅行商品の造成促進を目的とした観光商談会をオンラインで実施しました。4 道県からは観光施設等 29 社と韓国からは旅行会社等 26 社が参加し、それぞれ商談を行いました。4 道県側の参加者からは旅行商品の造成につながる商談ができたという声も聞かれたほか、韓国側の旅行会社等からは自然や温泉の魅力をより知ることができたので、新しい商品開発に役に立たせたいとの感想もありました。

(2) 物産関係

・ビジネス開拓支援事業

主に輸入実績のある企業からの情報を収集し、該当の道県担当者へ情報提供しています。これまで調整を続けてきた北海道の企業と韓国の輸入販売会社との商談が合意に至り、輸入がスタートする運びとなりました。(金次長対応)

・バイヤー招へい事業の準備

10 月の秋田県へのバイヤー招へい、11 月の北海道へのバイヤー招へいを実施したところですが、1 月には岩手県、2 月には青森県にバイヤー招へいを行う予定としており、訪問先の調整等の準備を進めています。(金次長対応)

(3) その他

・青森県職員の来韓への対応

青森県の交通、誘客担当の職員が来韓し、12 月 13 日～14 日、韓国内の旅行会社等を訪問しました。当事務所からは張次長、崔代理が同行しました。

・アジア太平洋ヤングリーダーズフォーラムへの参加

11 月 5 日～6 日に韓国済州道で開催されたアジア太平洋ヤングリーダーズフォーラム(世界自然遺産関係セッション)に、青森県自然保護課職員の代理として西岡が参加し、青森県の世界自然遺産の保全と活用について発表しました。(西岡対応)

2 新型コロナウイルス感染症関係

中国からの韓国入国者に対する渡航制限関係

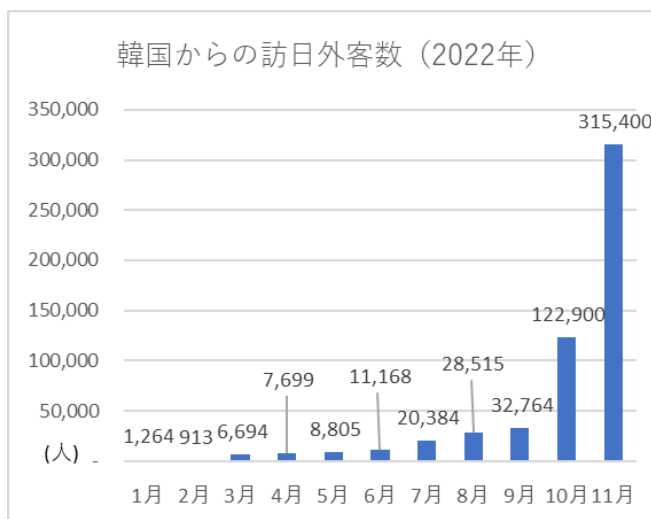
2023 年 1 月 2 日から韓国政府は中国（香港、マカオを除く、）から韓国に到着した入国者全員に PCR 検査を義務付けており、陽性が判明した短期滞在者は臨時施設で 7 日間の隔離となります。このほか、1 月 5 日からは中国（香港、マカオを除く）から韓国行きの航空機に搭乗する者に対し、搭乗前 48 時間以内に行った新型コロナウイルスの PCR 検査又は 24 時間以内に実施した医療用迅速抗原検査での陰性証明書の提出を義務付けています。1 月 7 日からは香港とマカオからの入国者も陰性証明書の提出が必要となっています。

また、韓国政府は 1 月 2 日から 31 日まで中国から韓国への観光用の短期ビザの発給を停止しました。中国でのゼロコロナ政策の大幅緩和以降、中国内で感染が急拡大していることを背景に韓国の水際対策が強化されたこととなります。

3 統計データ

韓国からの訪日外客数

韓国からの訪日外客数は 10 月 11 日に日本に入国する際のビザ免除措置が再開されてから、顕著に伸びており、JNTO 日本政府観光局が発表した 11 月の速報値は対前月比で約 2.5 倍となっています。コロナ前である 2019 年 11 月の韓国からの訪日外客数は約 20 万 5 千人でしたので、コロナ前の同月の数値を上回っています。ただし、2019 年は 8 月以降、ノージャパン運動が起き、韓国からの訪日外客数が大きく落ち込んでいた時期となります。ノージャパン運動前となる 2018 年 11 月の韓国からの訪日外客数は、約 58 万 8 千人でした。



（出典：日本政府観光局（JNTO）10、11 月の数値は推計値）

4 トピック

・韓国政府が観光振興基本計画を定める。

12 月 12 日、韓国政府は 2023 年～27 年の第 6 次観光振興基本計画を定めました。この中では、2027 年までに外国人観光客 3000 万人、観光収入 300 億ドル（約 4 兆 1,060 億円）、国内旅行支出額 50 兆ウォン達成などを目標に掲げています。

・韓国釜山の飲食店で QR コードのメニュー表。外国人が注文しやすく。

釜山広域市は市内の主要観光地にある飲食店 50 店に QR コードを活用したスマートメニュー表を導入すると発表。来店者がメニュー表に記載された QR コードをスマートフォンで読み取ると料理の写真、価格とともに多言語で料理の内容が表示され、そのまま、オンラインで予約、注文、決済が可能となっています。

・劇場版「スラムダンク」がヒット。

日本の人気漫画「スラムダンク」を原作とする映画「THE FIRST SLAM DUNK」が韓国で 1 月 4 日に公開され、初日の観客動員数でアメリカ映画「アバター：ウェイ・オブ・ウォーター」に次ぐ興行ランキング 2 位を記録しました。同作品に登場するある高校は秋田県のバスケット強豪校がモデルと言われています。